

岩土発第 984 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長
金 井 道 夫 殿

岩倉市長 石 黒 靖 明



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

平素より、本市における道路行政にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成20年9月19日付け国道企第37号により依頼のありました標記につきまして、別紙のとおり回答いたします。

(連絡先 岩倉市建設部土木課道水路整備係 電話(0587)66-1111)

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

愛知県岩倉市

過疎地の道路整備が進む一方、都市部の歩みが遅い現状がある。また、過疎地における道路整備（特に高規格道路）は、その地域の生活を支える反面、行動圏域が大幅に拡大し、結果、従来までは「秘境」といわれた観光地が平凡な地域に変容してしまうなど、その特性が失われ、逆に過疎化が進行することもある。都市部は都市部なりの、過疎部は過疎部なりの、その地域の状況に応じたメリハリのある道路整備が必要である。

また、市の道路行政は、国や県が行う骨格道路や幹線道路での事業とは異なり、生活道路のための事業が主となっており、国等によって打ち出される施策の内容が、市の道路行政に馴染むものばかりではないため、その施策に則り事業を実施することが困難なケースが多々ある。

特に、市が管理する道路延長は、国や県が管理する道路延長よりも非常に長く、その維持管理に多くの労力、費用を費やしている。一方、橋梁など社会資本ストックの更新時期を迎え、これらの適切な維持管理や計画的な更新、更に少子高齢化社会を迎え、通学路整備や交通事故危険箇所対策など交通弱者を始めとする市民の生活に密接に関連した道路整備も必要である。

よって、市が行う“市民の生活に密着した道路整備・管理”への、きめ細かい支援が必要である。

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

岩倉市は、愛知県の北西部、尾張平野のほぼ中央に位置し、人口約4.9万人、面積約10.49km²で、愛知県内では名古屋市に次ぐ第2位の人口密度となっている。

大都市名古屋に近接する本市では、名鉄犬山線及び地下鉄鶴舞線により名古屋都心と直結するなど、公共交通の利便性の高さや恵まれた地理的条件などにより、昭和40年代より住宅開発が行われ、住宅都市として発展してきた。

市域の約7割に相当する区域において、土地区画整理事業や土地改良事業を施行したこともあり、比較的社会基盤の優れた本市ではあるが、車への依存度も高い地域であり、交通が集中する国・県道を始めとする幹線道路は、道路整備が遅れているため様々な交通障害を引き起こしている。

○課題

特に重要な南北軸である主要地方道名古屋江南線の未整備区間では、朝の通勤時間帯などにおいて、著しい交通渋滞を引き起こしているとともに、周辺の生活道路に迂回交通が流入し非常に危険な状態となっていることから、早期の完成供用が喫緊の課題となっている。

更に、周辺都市を結ぶ一宮春日井線や萩原多気線、北島藤島線といった東西軸の未整備の都市計画道路の整備も進め、市域全体での幹線道路ネットワークを早期に完成させることが強く望まれている。本市では「安心・安全なまちづくり」を重点施策の一つとして推進しているが、これら幹線道路を支える生活道路においても通学路の整備や交通事故対策など市民の生活に密接に関連した道路整備も課題となっている。

当市は、愛知県内の市部の中では最小規模の都市であるため、企業誘致を始めとした大規模な開発には不向きである。そのため、名古屋都心への近接性を活かし便利で安心・安全な街にし、定住化を促進することが、本市にとって最も重要と考えている。

そのためにも、現在事業中の岩倉駅東地区の再開発事業による中心市街地の活性化とともに、駅東地区への道路ネットワークの形成により再開発事業の整備効果を一層向上させ、更には交通結節点の改善を図るため、駅東地区への幹線道路の早期整備を目指している。

また、地域内交通と地域間交通(通過交通)が重なり、市内における交通の円滑化に課題を有していることから、主要地方道名古屋江南線を始めとする幹線道路の整備を最優先で行うとともに、これら幹線道路を支える生活道路においても、市民の生活に密接に関連した通学路の整備や交通事故対策、また、大規模な地震・水害等の被害を最小限に食い止めるため、橋梁を始めとする社会資本ストックの維持管理及び計画的更新になどにより「安心・安全なまちづくり」を目指している。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

愛知県岩倉市

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	主要地方道名古屋江南線を始めとする幹線道路整備	沿線市町との連携・交流を高めるとともに、現在、幹線道路が著しい交通渋滞のため、周辺の生活道路に迂回交通が流入し非常に危険な状態となっていることから、これらの解消が期待される。	
・地域活力の向上 ・都市交通の快適性、利便性の向上	駅東地区への幹線道路整備	駅東地区への道路ネットワークの形成により再開発事業の整備効果を一層向上させるとともに、交通結節点の改善に繋がることが期待できる。	
・大規模な地震、火災に強い国土づくり等 ・水害等の災害に強い国土づくり	橋梁を始めとする社会資本ストックの維持管理及び計画的更新	社会資本ストックの適切な維持管理や計画的な更新により、日常の安全で安心な生活環境が確保できる。	